



URL:<http://www.nara-roushikyo.jp/>

奈良県老人福祉施設協議会

検索

奈良県老施協

# あおひき

No.

35



2021年

発行所：奈良県老人福祉施設協議会 発行者：植田 誠 事務局：0744-29-0100

奈良県老施協  
マスコットキャラクター  
「いちなちゃん」



河合町 廣瀬神社「砂かけ祭り」

## もくじ

- 「加算はとるものではなく、算定するもの！」…1
- 令和2年度奈良県老人福祉施設協議会 事業報告(4月~12月)…2
- 生活相談員るいとも(Zoom勉強会) 研修報告……………3
- 施設の窓……………4
- プチっと講座……………5
- 編集後記……………5

## 「加算はとるものではなく、算定するもの！」

奈良県老人福祉施設協議会 副会長 平岡 毅

皆さまにおかれましては、日々利用者様の生活を守るべく、の感染予防対策を重ねておられることと思います。本当にご苦労様でございます。

さて、高齢者の生活関連では、ようやく令和3年度介護報酬改定の基本報酬や各種加算の具体的な内容が示されました。改定のポイントは①改定率0.7%（特例的な評価分0.05%を除く）がすべて、基本報酬のアップに充当されたことと②感染症対応や科学的介護の推進など、介護等事業が重点をおく必要がある事項について改定が行われた2点かと思っています。その中でも特に留意すべきは、国家の一大プロジェクトであり、データベースの構築と生活介護現場への還元（フィードバック）を目的としているいわゆる「LIFE（ライフ）※CHASE（チェイス）より名称変更された」が

“本格的”に運用実施していくことではないでしょうか。しかしながら、「加算はとるものではなく、算定するもの！」だと考えます。決して本末転倒とならぬようこれより4月に向けて、「LIFE（ライフ）」なるものの詳細と各種加算の算定要件を学び・正しく解釈し、福祉を目的とした介護サービスの提供・実践に繋げることができればと思います。この件に関しましては、本会としましても情報提供及び研鑽の機会を…と考えております。

むすびにかえて、昨今世の中が“高齢者＝介護保険制度”一辺倒のように感じるものがまあります。しかしながら、「高齢者（老人）福祉」全体が豊かになるような取組みや歩みが必要かと考える今日この頃でございます。

## 奈良県老人福祉施設協議会 令和2年度事業の経過報告(4月～12月)

### 令和2年度事業の経過報告(4月～12月)

#### 5月

##### ●第二次新型コロナウイルス感染症にかかる対応への要望書提出

令和2年5月14日(木)に奈良県に対して新型コロナウイルス感染症にかかる対応への第二次要望書を提出しました。

#### 8月

##### ●奈良県内特別養護老人ホーム施設状況調査(調査 令和2年8月) / サービス向上委員会

令和2年4月～6月現在の特別養護老人ホームの施設状況について調査を実施しました。

調査内容：入所者状況 / 入退所状況 / ショート利用状況 / 職員状況 等

#### 9月

##### ●機関紙「あおによし」の発行 / 情報発信委員会

第34号 令和2年9月発行 発行部数 2243部  
配布先：会員施設、各市町村行政、老人福祉センター、各市町村社協等760ヶ所

##### ●令和3年度施策並びに予算に関する要望書、第三次新型コロナウイルス感染症にかかる対応への要望書提出 / サービス向上委員会

令和2年9月29日(火)に奈良県知事、奈良県会議長に対して、令和3年度施策並びに予算に関する要望書、新型コロナウイルス感染症にかかる対応への第三次要望書を提出しました。

#### 10月

##### ●第31回生活相談員いとも (Zoom勉強会) / 職種別研修委員会

令和2年10月9日(金)、オンラインにて開催し、21名のご参加をいただきました。

テーマ：「新型コロナウイルス感染症について」  
～今、生活相談員として困っていることは何ですか？～  
助言者：特別養護老人ホームゆあほうむ棟原 施設長 玉利 佳代子 氏

##### ●令和3年度施策並びに予算に関する要望書提出 / サービス向上委員会

令和2年10月23日(金)に奈良市長、奈良市会議長、奈良市議会厚生消防委員会委員長に対して令和3年度施策並びに予算に関する要望書を提出しました。

##### ●介護職員処遇改善加算等に関する調査(調査 令和2年10月) / サービス向上委員会

令和2年10月現在の介護職員処遇改善加算等に関するアンケート調査を実施しました。

調査内容：算定開始時期 / 届出単位 / 提出書式作成(取纏及提出)担当者 / 算定区分 / 見える化要件の対応方法 / 配分対象職員 等

##### ●新型コロナウイルス感染症対応に関する調査(調査 令和2年10月) / サービス向上委員会

令和2年10月現在の新型コロナウイルス感染症対応に関するアンケート調査を実施しました。

調査内容：職員・利用者ケア感染拡大防止のために取り組んだ内容 / 感染対策をおこなった結果、昨年と同じ月と比較して収益に変化 / 新型コロナウイルス感染症対応時期・4ヶ月間(2020年4月～7月)の月平均の稼働率 / 介護報酬の特別措置等の申請状況 / 新しい生活様式において課題となること 等

#### 11月

##### ●地域密着型サービス連絡会



一村 小百合 講師

令和2年11月2日(月)、県社会福祉総合センターにて講演会を実施し、会員内外より17名のご参加をいただきました。

テーマ：「地域密着型サービスの役割と今後のあり方について」  
～地域が求める地域密着型サービスとは～

講師：関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科  
准教授 一村 小百合 氏

##### ●特別養護老人ホーム待機者状況調査(調査 令和2年11月) / サービス向上委員会

令和2年11月現在の特別養護老人ホーム待機者状況調査を実施しました。

調査内容：入所申込者数 / 平均入所申込期間 / 現在の生活場所 / 現在の入所希望の有無 / 他施設申込数 等

#### 12月

##### ●第32回生活相談員いとも (Zoom勉強会) / 職種別研修委員会

令和2年12月11日(金)、オンラインにて開催し、21名のご参加をいただきました。

テーマ：「新型コロナウイルス感染症対策下の看取りについて」～事例を基に考える～

助言者：特別養護老人ホームゆあほうむ棟原 施設長 玉利 佳代子 氏

##### ●オンライン施設長連絡会議

令和2年12月17日(木)、オンラインにて開催し、91名のご参加をいただきました。全国・近畿老協の動向、委員会・部会活動の報告・検討等と共に、特養部会主管で次期介護報酬改定・高齢者施設における新型コロナウイルス感染症への県の対応について等の行政説明を実施しました。



行政説明

## 生活相談員るいとも (Zoom勉強会) 研修報告

2020年の新型コロナウイルス感染症がもたらした世界各国のパンデミックは、日本の私たちの生活に大きな影響を与え、世代を超えて語り継がれていくと思われるほど世の中を変えました。

今回の出来事は、予見できないようなことが突然起こると言うことや、その変化に対し真正面から対峙し試行錯誤する重要性を学ばせてくれたように思います。

その一つがWeb会議ツールの活用です。ICTの活用が進められているなか、なかなか積極的な動きがみられない介護業界でしたが、新型コロナウイルス対策の一環として、人との接触を減らすために、急にICT化が進んだように思われます。

職種別研修委員会が担当する【るいとも（生活相談員研修）】でも、コロナ禍での施設内感染症対策を試行錯誤する中で、他施設との情報交換を望むものの、集合研修にはリスクを感じ【Zoom勉強会】が提案されました。参加者の顔を見ながら、資料の画面を共有しながら打合せができ、自施設やご自宅からの遠隔セッションで、それぞれの都合に合わせて参加でき、何より感染リスクなく他施設と情報交換をしていただけました。

以前より『対面に勝るものなし』という先入観を抱いていましたが、【Zoom】での研修を重ね、参加者より『チャット機能を使い、気軽に質問できる』『移動時間がないので参加しやすい』といった声もあり、今後、アフターコロナでもオンラインとオフラインとを併用し、双方を上手に活用した効果的な研修が企画できればと考えております。



### 【参加者からいただいたアンケート結果】

#### オンライン勉強会に参加した感想

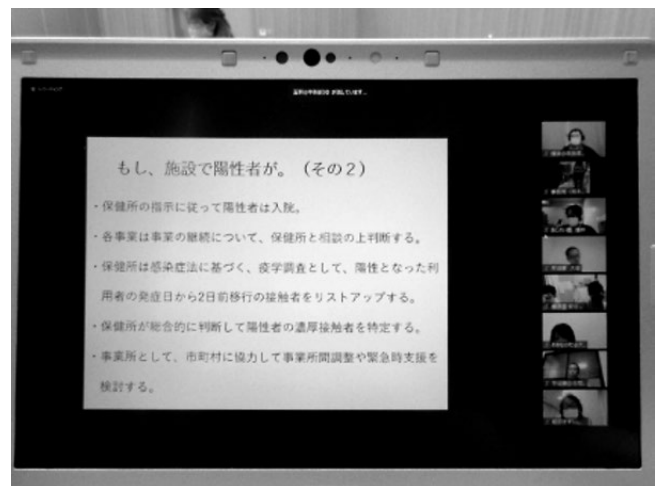
- ★全員での意見交換・グループワーク・パワーポイントを使用した説明・会話の要点をチャットで確認できる等、多くのことができた。
- ★ネット環境が整っていればオンライン勉強会は何の問題もない。
- ★対面のグループワークより会話に【間】があり間延びする。
- ★オンラインなら感染リスクなく他施設と情報交換ができる。
- ★zoomの操作も思ったより難しくなかったし、顔を見ながらの意見交換ができ良かった。

#### オンライン勉強会のメリット

- ★研修場所への移動時間がなく非常に効率的。
- ★好きな場所から参加でき、時間的な都合がつけやすい。
- ★出張しにくい環境でも職場で参加できる。

#### オンライン勉強会のデメリット

- ★休憩時間などに、気軽に情報交換ができない。
- ★タイムスケジュールを明確にし、目的を共有しないと雑談に終わってしまう。
- ★トークやグループワークをする際には、1人1台のパソコン等の端末が必要となる。
- ★オンライン会議・研修の独特の距離感等があり、遠慮しがちで関係性作りが難しい。
- ★zoomの習得・Wi-Fi環境の整備等があり、ハードルが高い。



## 施設の窓

# 特別養護老人ホーム第二慈母園 外国人技能実習生の想い ～日本の介護から学ぶもの～



氏名：ROBBIATUL  
ADAIYAH SUMARLY  
通称：ビアーさん  
年齢：23歳  
出身：インドネシア共和国  
来日：2020年2月



氏名：INTAN WULANDARI  
通称：インタンさん  
年齢：23歳  
出身：インドネシア共和国  
来日：2020年2月

### 【技能実習生へのインタビュー】

**Q1**：あなたが日本で介護を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

**ビアーさん**：大学在籍中に、『日本で仕事（介護）したい人はいませんか？』と案内があり、興味を持ち、やってみたくと思ったので希望しました。

**インタンさん**：案内を見て、『介護の仕事』がどのようなものか、はっきりわかっていなかったが勉強してみたいと思い希望しました。

**Q2**：あなたは、日々どんなことに気を付けて仕事をしていますか？

**ビアーさん**：

- ・車椅子への移乗介助を行う際など、安全に事故なく行える様に気を付けています。
- ・腰が痛くなるので、移乗の仕方に気を付けています。

**インタンさん**：

- ・食事介助を行う際に、飲み込みが悪い方で咽られることがあるので、様子を確認しながら、ゆっくり介助を行うようにしています。

**Q3**：あなたは、日本で何を学び、今後どうなりたいですか？

**ビアーさん**：

- ・日本語をもっと勉強し、日本の文化などを学びたいです。
- ・勉強とは関係ありませんが、温泉に行ってみたいです。

**インタンさん**：

- ・日本語の勉強、介護の勉強をして、介護福祉士を目指したいです。
- ・勉強とは関係ありませんが、スキー（雪を見たい）に行ってみたいです。

### 【日本人職員へのインタビュー】

介護係長：嶋岡 由香（実習指導者）

**Q1**：彼女達の印象や日々の仕事ぶりはどうですか？

**A1**：初めは『日本語が難しい』と、入居者に対する声掛けも躊躇しているような様子もありましたが、諦めることなく一生懸命に関わってくれています。

**Q2**：彼女達の指導で、一番気を付けている事は何か？

**A2**：わかりやすい言葉で伝え、伝わったかどうか確認することです。また日誌など、書いたもので理解することが難しいこともあるので、口頭で伝えるように気を付けています。

**Q3**：指導者として、日々業務等を行いながらになるとは思いますが、何が一番大変ですか？

**A3**：業務中での指導となるため、コミュニケーションが不足していると感じます。『今、忙しそうだから…』と彼女達は遠慮し、聞きたい時に聞く事ができていない様に思います。指導者としても、今、伝えたい事を伝える事ができない時があります。

### 【施設長へのインタビュー】

施設長：隅田 憲孝（実習責任者）

**Q1**：日本の介護を学びに来ている彼女達に期待する事は何か？

**A1**：彼女達は、コロナ感染が広がり出した、令和2年2月に来日しそれ以降、熱心に日本語及び介護の勉強をしながら、働いてくれています。遠く離れたインドネシアから、一大決心をして、日本で頑張っています。現在のコロナ禍において、不安も大きいと思いますが、介護の仕事の大切さ、魅力を理解し 自分自身の生きがいを発見してもらえれば嬉しいです。

# プチっと講座

## 養護盲老人ホーム慈母園 オンライン(Zoom)を活用した余暇活動について 『夢ある明日へ』

### ●サイエンスカフェって？

「サイエンスカフェ」とは、飲み物や軽食を取りながら、専門家と市民が科学についてリラックスして話をする場です。慈母園では、クラブ活動の一環として楽しんでもらっています。

講師は、第46次日本南極地域観測隊に、研究観測（地学系）として参加された元教員の上村 剛史先生。

学生時代に当園での体験学習のご縁から、平成18年「南極での体験」のお話をさせていただいたことが始まりです。

### ●どんなお話をするの？

コロナ禍で感染に関する話題が多く、精神的に不安を持つ方が目立つなかで、世情を超越するサイエンスの世界を訪ねる時空を創り、目の前のことだけを気にせず、大きく広い視野を持って過していただく！！とサイエンスカフェを行っています。生かされていることへの感謝の気持ち・明日からの新たな希望への想いも込めて、「宇宙に生命は存在するのか」「冥王星の惑星」「なぜ海の水はしょっぱいのか」など 入園者の疑問に基づき、お話をさせていただきます。 コロナウィルス感染が流行してからはオンライン(Zoom)で行っておりますが好評です。

### ～参加者の声～

サイエンスカフェは、いつも「なんでだろう？」と思う疑問を解決してくれます。

面白く・分かりやすく話をしてくださり、楽しみで絶対参加しています。

個別サイエンスカフェをお願いしたいくらい…学校にも行きたくなった(笑)

(86歳 女性より)



養護盲老人ホーム 慈母園 は、SNS (Facebook・Instagram) で行事・クラブ活動・新築移転進捗状況などの情報を発信しています。

上村 剛史先生も『ちがくブログ』で情報発信されています。

ご興味をお持ちになられた方は、検索をお願いします。



ホームページ



Facebook



J180EN19618327  
Instagram

養護盲老人ホーム慈母園 生活相談員 畑山 和也

## 編集後記

「あおによし」発刊に際し、原稿作成等ご協力を賜りました関係各位の皆様には、日頃のお仕事がお忙しい中でのご協力に改めて感謝申し上げます。

昨年来のコロナ禍は、地球規模的に多数の罹患者が出る中で、国内の福祉業界にも大きな影響を及ぼしています。会員施設で働く職員を始め、関係各位の皆様は神経をすり減らしながら支援にあたる状態が続き、同じ業界内ながら、本当に頭の下がる思いが致します。一方で、ZOOM等を活用したオンラインでの研修環境が急速に整備、実践される等 ICT化は一気に進み、人手不足に対しては外国人雇用の動きも活発化してきているとも感じます。介護報酬改定の時期も迎え、私たちは常に新しい課題に直面しますが、先が見えにくい状況でもプラスに捉え、課題の解決に向かうことが求められています。これからも会員施設の仲間の英知と工夫を武器に難局を乗り越えていきましょう。

情報発信委員会 副委員長 林 康樹

